



本社・工場（㈱大晃産業）

- 本社所在地：広島県尾道市
- 事業概要：船舶用防火扉・厨房家具・船舶用サイレンサー等の製造、船舶用防火材の輸入販売プラントタンク等、鉄製品加工・製造
- 常時使用する従業員：110人
(グループ全体・2026年1月時点)
- 現在売上高：29億円
(グループ全体・2025年10月時点)
- 法人番号：9240001064160
- Web：<https://taiko-jpn.com>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
松本 章仁

『海から陸へ』

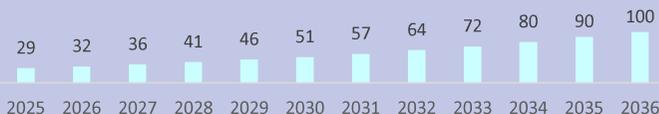
船舶業界のトータルサプライヤー、そして日本のものづくりを支える100億企業への挑戦！

当社（㈱大晃産業）は防火扉などの薄板板金からスタートし、半世紀以上の歴史のなかで、薄板の製缶・防火材の卸売と事業領域を広げてきました。従来は舶用品のマーケットがメインでしたが、今後は陸上マーケットへの積極展開を考えています。また近年は採用活動を強化した事で若手社員も多数仲間に加わりました。日本の造船を支えてきた当社の技術を活かしながら、従業員一丸で挑戦し、日本のものづくりに貢献できる未来をつくっていきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年の売上高100億の達成に向け、陸上マーケットの新しい販路を開拓するとともに、増産体制を確立し、段階的に成長いたします。



課題

- ✓ 陸上マーケット開拓のための、協力企業や営業体制の確立
- ✓ 属人化傾向にある工場生産体制の標準化や仕組みづくり
- ✓ ベテラン社員から若手社員への技術ノウハウの伝承
- ✓ 増産体制を確立するための、工場立地確保や資金調達方法の検討

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ✓ 積極的なM&A買収や事業提携を行うことによる、陸上マーケット販路の開拓/確保
- ✓ デジタルツールを導入することによる工場DXの推進
- ✓ 社員の働きがい向上や若手社員の定着支援
- ✓ 具体的な経営計画の策定、資金調達手段や組織体制の再構築

実施体制

- ✓ 社長直轄型の陸上マーケット分野への営業チームを編成 M&A 仲介者と連系した、売り手企業案件の発掘
- ✓ SaaSソフトの導入によるDX風土の醸成と仕組み改善
- ✓ 人事評価制度や各種福利厚生制度の導入
- ✓ 金融機関やコンサル会社との連携強化による経営計画策定

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

ホールディングス経営体制の強化について

ホールディングス会社設立について

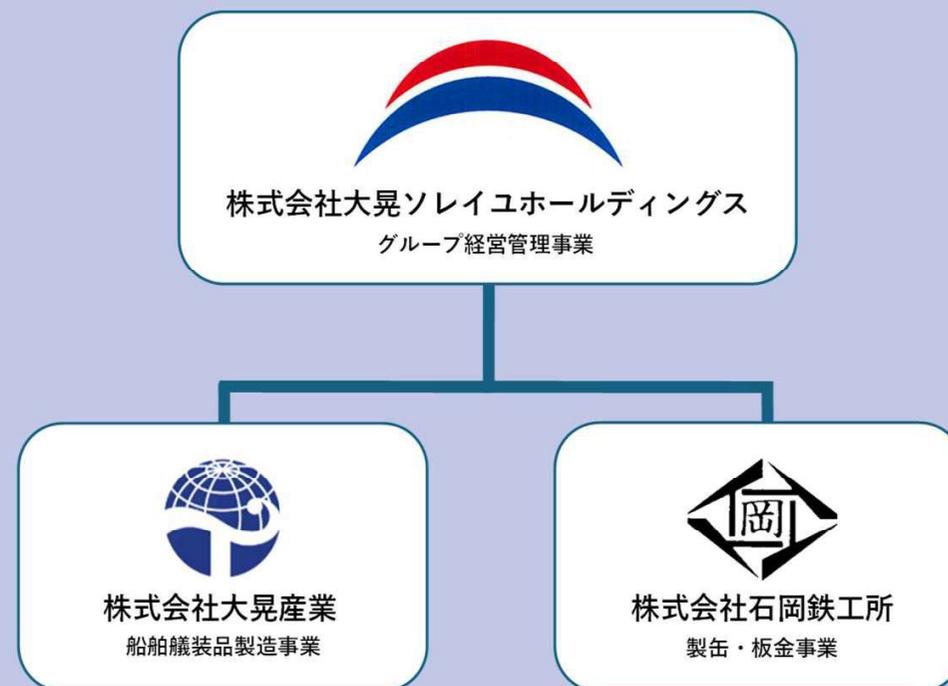
2024年11月に当社を設立し、株式会社大晃産業はホールディングス経営体制へと移行を開始いたしました。今後、ヒト・モノ・カネといった経営資源をホールディングス会社へと集約し、グループ企業全体で成長できる経営体制を整えてまいります。

当社社名の一部である「ソレイユ（Soleil）」は、フランス語で「太陽」「ひまわり」という意味をもちます。今後、当社グループがより一層お客さまのお役に立ち、未来を照らす存在となること、そして日本のものづくり産業に無くてはならない存在へと成長することへの想いを込めています。

グループ会社について

2025年7月、当社は株式会社石岡鉄工所（広島県福山市箕沖町）を子会社化いたしました。大正5年創業の株式会社石岡鉄工所では、創業、鉄・ステンレスの製缶・鋼板曲げを専門とし、全国有数の大型タンクの製作や大型パイプの曲がり矯正などを手掛けております。

今回のグループ化は、当社のスローガンである「海から陸へ」の歩みをすすめる第一歩となると考えております。株式会社大晃産業で長年培ってきた船舶業界でのノウハウを更に深化させ、他業界におけるお客さまのお役にも立てるよう、グループ企業一丸となって発展することを宣言いたします。



※2025年7月グループ化